

平成26年度当初予算 農林水産部主要施策の概要

◎予算編成のポイント

- ・ 北陸新幹線金沢開業を見据え、特色ある県産農林水産物の育成・魅力発信施策の取組みを進める。
- ・ 世界農業遺産の認定を活用した農産物の付加価値向上や、里山を支える農業の営みを維持・保全する取組みを進める。
- ・ 魅力ある産業としての農林水産業づくりを目指し、農業人材の育成・確保など次世代に向けた農業の振興、消費者ニーズに応える生産・流通体制の強化、森林の公益的機能の保全と林業・木材産業の育成、水産業の活性化を進める。

◎重点主要施策の概要

- 特色ある県産農林水産物として、「ルビーロマン」の首都圏等への販売促進や「エアリーフローラ」のブランド化に加え、能登牛等について安定供給体制を整備するなど、来県者への「おもてなし食材」として県産農林水産物の魅力向上に向けた取組みを進める。
- 北陸新幹線金沢開業効果を高める全国イベントとして、平成27年春に予定される第66回全国植樹祭の開催準備を進める。
- 農業の営みを通じて里山の維持・保全を図り、未来に継承していくため、農業を中心とした生業の創出や他産業のノウハウを活用した収益性の高い農業経営の実施を図る。
- 農業への多様な担い手の参入促進に向けた仕組みづくりや、経営体への農地の利用集積や集約化を促進するとともに、いしかわ農業人材機構による農業人材の育成や、新規就農者と受入農家とのマッチングを進める。
- 木質バイオマスボイラー、間伐材等チップ化施設、林内路網の整備、木材加工流通施設の整備、利用間伐の推進など、県産材の供給体制の整備から利用拡大までの総合的な取組みを支援する。
- 農業水利施設や林道、漁港等の老朽化・耐震対策の実施、経営の大規模化・効率化に向けた農業基盤の整備、治山等による森林保全・整備、漁港・漁場などの水産基盤の整備を進める。

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
北陸新幹線金沢開業を受けた観光交流施策の戦略的推進		
1 新幹線開業に向けた本県産業の新たな展開		
(1) 特色ある農林水産物の全国ブランド確立に向けた首都圏販売戦略		
・ ルビーロマンプロモーション事業費	2,500	東京市場等でのトップセールスなど首都圏販売の促進
・ ルビーロマン高品質生産技術確立事業費	7,000	商品化率向上新技術の実証・普及
・ エアリーフローラブランド化推進事業費	8,000	豊富なカラーバリエーションを活かした販売促進、増産に向けた産地づくり
(2) 特色ある県産食材の首都圏へ向けた販路開拓		
・ 県産食材販路開拓推進事業費	8,500	バイヤー、レストランシェフを対象とした「いしかわ百万石マルシェ」の開催
(3) 開業後の誘客促進に向けたもてなし食材の育成と掘り起こし		
・ 能登牛1000頭生産体制整備事業費	22,500	肥育牛及び繁殖牛の増頭、畜舎の整備など農家等への支援
・ 養殖トリガイブランド化推進事業費	2,320	漁業者による本格生産の開始、養殖マニュアルの作成など
・ もてなし加工品づくり支援事業費	3,800	地元農家が生産する加工品の販売要件の整備や専門家の助言に基づく改良支援
・ 地域に埋もれた希少食材育成事業費	1,500	希少食材・未利用資源の調査、市場ニーズに応じた有望品目の商品開発など
2 魅力あふれるイベントの開催		
・ 全国植樹祭推進事業費	306,000	第66回全国植樹祭(H27年春)の開催準備 全国植樹祭推進室の体制強化、実施計画の策定など
世界農業遺産「能登の里山里海」の活用・保全と魅力発信		
・ 能登のこだわり農産物生産推進事業費	5,150	奥能登4JAによる能登棚田米のブランド化推進 首都圏での販売・PRの推進、実証ほの設置等による特別栽培米移行への支援 能登7JAによる能登米のエコ農業化支援 エコ栽培指針の周知、展示ほの設置等によるエコ農業化に向けた技術支援 エコ農業推進団体の認定拡大 能登野菜を中心としたエコ農業認定の拡大
・ 海女文化継承・振興費	1,000	◎全国海女文化保存・振興会議を通じた情報交換、魅力発信
・ 能登の里海藻場保全対策事業費	2,525	海女の漁場となる藻場の再生による里海保全、サザエ・アワビの外敵生物の除去など
・ 抵抗性マツ生産力強化事業費	5,825	抵抗性マツを中心とした苗木生産者の育成、効率的な苗木生産方法の導入
・ ◎ドジョウ養殖推進事業費	2,984	安定供給に向けた養殖生産の開始、生産者の組織化など

農林水産部

事業名	金額(千円)	説明
・ 他産業との連携による農業収益向上推進事業費	8,500	収益性の高い農業生産・経営管理手法の実証、低コスト水稲栽培技術の開発など
・ 里山保全農業機械整備事業費	4,000	自然環境に配慮した里山保全に取り組む集落の共同利用機械への支援
魅力ある産業としての農林水産業づくり		
1 次世代に向けた農業の振興		
・ 農業人材マッチング事業費	9,484	農業に関するワンストップ窓口機能を活かした就農相談の実施、新規就農者と受入農家とのマッチングなど
・ いしかわ耕稼塾運営事業費	20,000	就農希望者に対する技術・経営研修、農家後継者等のスキルアップ、 ^⑩ 農業法人の経営幹部を養成するマネジメント研修の開催など
・ 他産業との連携による農業収益向上推進事業費(再掲)	8,500	収益性の高い農業生産・経営管理手法の実証、低コスト水稲栽培技術の開発など
・ 青年就農給付金事業費	171,375	青年就農者の定着を図るため、新規就農に向けての準備支援と就農後の定着を図るための給付金
・ 農地集積協力促進事業費	121,160	地域の中心となる経営体へ農地貸付等を行う者に対する協力金
・ 多面的機能支払事業費	331,055	地域の農業者が共同で取り組む農地・農業用水等の良好な保全活動を行う集落への支援
・ 中山間地域等直接支払事業費	522,617	生産条件の不利な中山間地域での農業活動維持への支援
2 消費者ニーズに応える生産・流通体制の強化		
(1) 生産と流通の振興		
・ ルビーロマンプロモーション事業費(再掲)	2,500	東京市場、大阪市場でのトップセールスなど販売の促進
・ ルビーロマン高品質生産技術確立事業費(再掲)	7,000	商品化率向上新技術の実証・普及
・ エアリーフローラブランド化推進事業費(再掲)	8,000	豊富なカラーバリエーションを活かした販売促進、増産に向けた産地づくり
・ 能登牛1000頭生産体制整備事業費(再掲)	22,500	肥育及び繁殖の増頭、畜舎の整備など農家等への支援
・ もてなし加工品づくり支援事業費(再掲)	3,800	地元農家が生産する加工品の販売要件の整備や専門家の助言に基づく改良支援
・ 地域に埋もれた希少食材育成事業費(再掲)	1,500	希少食材・未利用資源の調査、市場ニーズに応じた有望品目の商品開発、試作など
・ 県産食材販路開拓推進事業費(一部再掲)	10,200	首都圏での「いしかわ百万石マルシェ」の開催、パイヤー等と生産者との交流会
・ 県産農産物消費拡大支援事業費	1,000	関西圏での加工・外食業者等との商談会など
・ 青果物産地活性化支援事業費	2,000	産地ごとの課題に対応した生産・流通・販売対策の実施など
・ 青果物新産地づくり推進事業費	3,000	飲食店等のニーズに対応した野菜生産への支援など
・ 需要に対応した米づくり推進事業費	2,500	うまい・きれいな石川米づくり運動の推進など
・ いしかわ地産地消ネットワーク形成事業費	2,000	商工業者・農林漁業者との受注懇談会による県産食材の安定供給への支援
・ 奥能登の食材市場流通モデル事業費	1,000	奥能登地域の特色ある食材の市場流通への支援(奥能登直行便)

農林水産部

事業名	金額(千円)	説明
(2) 環境に配慮した農業の推進		
・ 環境保全型農業支援対策費	15,992	地域で行う農薬・化学肥料の5割低減活動や、有機農業の取組みなどへの支援
・ 能登のこだわり農産物生産推進事業費(再掲)	5,150	奥能登4JAによる能登棚田米のブランド化推進 首都圏での販売・PRの推進、実証ほの設置等による特別栽培米移行への支援 能登7JAによる能登米のエコ農業化支援 エコ栽培指針の周知、展示ほの設置等によるエコ農業化に向けた技術支援 エコ農業推進団体の認定拡大 能登野菜を中心としたエコ農業認定の拡大
(3) 食の安全・安心確保総合対策の推進		
・ 食品表示適正化事業費	2,743	JAS法等に基づく加工食品製造業者等への調査・指導及び研修会の開催、DNA鑑定による県産米の品種判定検査の実施
・ 米トレーサビリティ制度推進事業費	385	米トレーサビリティ制度の普及・啓発
・ 高病原性鳥インフルエンザ予防対策事業費	7,017	ウイルス検査などの防疫体制の強化
・ 口蹄疫対策事業費	990	防疫訓練の実施と防疫体制の強化
・ 畜産農場防疫環境整備事業費	4,100	自衛防疫意識の向上、農家での発生予防体制の整備支援
・ 鳥獣害防止対策事業費	79,953	防護柵の設置などの農作物被害防止対策への支援など
	(ほかに第1次2月補正 20,000)	
(4) 多面的機能の理解の促進		
・ いしかわ田んぼの学校推進プロジェクト事業費	5,174	地域と小学校が連携した体験型環境学習の実施
3 森林の公益的機能の保全と林業・木材産業の育成		
・ いしかわ森林環境基金事業費	586,121	手入れ不足人工林における強度間伐の実施、侵入竹の除去など 556,421千円 森づくり活動の普及啓発、子ども達への森林体験活動など 29,700千円
・ ⑩他産業との連携による林業活性化推進事業費(第1次2月補正分)	260,050	未利用間伐材等を活用した木質バイオマスエネルギーの利用促進に対する支援
・ 森林整備・林業活性化基金事業費(第1次2月補正分)	745,570	路網整備、木材加工施設、高性能林業機械の整備に対する支援など
・ 抵抗性マツ生産力強化事業費(再掲)	5,825	抵抗性マツを中心とした苗木生産者の育成、効率的な苗木生産方法の導入
・ あすなる塾運営事業費	68,000	素材生産基礎知識・高性能林業機械の操作技術の講習会の実施など
・ いしかわの木が見えるたてもの推進事業費	10,200	県産材を一定量以上使用した住宅等に対する助成
・ 松くい虫対策費	121,160	空中散布等による松くい虫被害の蔓延防止
	(ほかに第1次2月補正 136,000)	
・ ⑩抵抗性アテ品種選抜事業費	1,200	漏脂病に抵抗性のあるアテの品種選抜

農林水産部

事業名	金額(千円)	説明
・ 造林事業費(一部再掲)	241,607 (ほかに第1次2月補正 661,310)	間伐・枝打などの森林整備に対する助成
・ 林道整備事業費	510,800 (ほかに第1次2月補正 108,400)	県営林道開設等事業費 継続9路線(赤畑線、西山線、白木峠線ほか) ふるさと林道整備事業費
・ 治山事業費	588,154 (ほかに第1次2月補正 265,000)	山地災害の復旧・予防及び環境保全林等の整備 新規4地区、継続38地区(輪島市東中尾地内、 ◎津幡町御門地内、小松市浜佐美地内ほか)
・ のとてまり生産体制強化事業費	1,100	栽培技術講習会の開催、原木の安定供給など
・ 全国植樹祭推進事業費(再掲)	306,000	第66回全国植樹祭(H27年春)の開催準備 全国植樹祭推進室の体制強化、実施計画の策定など
4 水産資源の増大と流通の効率化による水産業の活性化		
・ ◎養殖トリガイブランド化推進事業費(再掲)	2,320	漁業者による本格生産の開始、養殖マニュアルの作成 など
・ 海女文化継承・振興費(再掲)	1,000	◎全国海女文化保存・振興会議を通じた情報交換、魅力 発信
・ 能登の里海藻場保全対策事業費(再掲)	2,525	海女の漁場となる藻場の再生による里海保全、サザエ・ア ワビの外敵生物の除去など
・ ◎ドジョウ養殖推進事業費(再掲)	2,984	安定供給に向けた養殖生産の開始、生産者の組織化など
・ 栽培漁業振興対策費	2,234	ヒラメ、アワビ等の種苗放流活動への助成など
・ わかしお塾運営費	1,000	就業希望者に対する体験乗船の実施、若手漁業業者のス キルアップに向けた講座の開催
・ 沿岸漁場整備開発事業費	51,380 (ほかに第1次2月補正 184,000)	魚礁設置による沿岸漁場の造成 新規1地区、継続2地区(輪島市地区、穴水町地区、 ◎七尾市地区)
・ 大型クラゲ対策事業費	2,800	大型クラゲ来遊情報の提供
・ 漁港機能保全事業費	61,920 (ほかに第1次2月補正 60,000)	漁港施設の長寿命化に資する施設機能保全計画策定 継続2漁港(石崎漁港、橋立漁港)
・ 漁港・漁村整備費	348,306 (ほかに第1次2月補正 230,000)	防波堤・岸壁・物揚場などの整備 新規1漁港(◎高浜漁港) 継続9漁港(蛸島漁港、富来漁港、橋立漁港ほか) 市町漁港整備事業に対する助成 七尾市など6市町
5 農業生産基盤の整備		
・ 県営ほ場整備事業費	1,068,704 (ほかに第1次2月補正 516,364)	土地利用型農業のコスト低減に向けた大区画ほ場整備 継続17地区(相神地区、今浜第2地区、 余地地区ほか)
・ 県営土地改良総合整備事業費	188,454 (ほかに第1次2月補正 120,000)	耕作放棄地の未然防止のためのかんがい施設等整備 新規1地区、継続1地区(◎鹿上地区、 加賀中部第3地区)

農林水産部

事業名	金額(千円)	説明
<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域総合整備事業費 	129,589	中山間地域の活性化のための基盤整備 継続3地区(柳田西部地区、竹橋地区、 湊上川流域地区)
<ul style="list-style-type: none"> 国営かんがい排水事業費 	139,625	白山頭首工等基幹的農業水利施設の改修 手取川流域地区
<ul style="list-style-type: none"> 県営かんがい排水事業費 	371,830	かんがい排水施設の更新整備 継続5地区(北星地区、大慶寺用水地区、 中島用水地区ほか)
<ul style="list-style-type: none"> 基幹水利施設予防保全対策事業費 	113,905	用排水路の長寿命化に向けた補修 継続3地区(南加賀地区、手取川左岸地区、 手取川右岸地区)
<ul style="list-style-type: none"> 用排水施設等整備事業費 	181,070	老朽ため池整備事業費 継続14地区(子浦地区、山田地区、上大沢地区ほか)
<ul style="list-style-type: none"> 震災対策農業施設整備事業費 (第1次2月補正分) 	50,000	用排水施設整備事業費 継続3地区(中能登中央地区、郷用水第2地区、 宮保地区)
<ul style="list-style-type: none"> 農道整備事業費 	356,200	ため池の耐震点検 183箇所 ハザードマップの作成 256箇所
<ul style="list-style-type: none"> 農道整備事業費 	88,420	広域営農団地農道整備事業費 20,410千円 継続1地区(能登外浦4期地区)
<ul style="list-style-type: none"> 農道整備事業費 	35,770	ふるさと農道整備事業費 15,360千円 継続1地区(珠洲5期地区)

農林水産部